

市民生活の現状と認識



民主・護憲クラブ
松尾 哲也 議員



市民生活の現状と認識

問 物価高騰に賃上げが追いつかず、実質賃金は一昨年と比べ0.2%減り、3年連続のマイナスだが、市民生活の実態を市長はどう感じるか。

答 市民生活は大変厳しい状況と認識している。引き続き市民生活への影響を注視し、必要に応じて支援策を実施していく。

先島諸島からの住民避難受入れ

問 台湾有事の際は、本市に先島諸島から1,471人を受入れる計画だが、市長の考えは。

答 県は令和8年度までに受入れ基本要領を作成する予定であり、今後示される国の方針等を踏まえ、県と具体的な協議を行っていく。

県境地域振興ビジョン

問 福岡県は、県境地域振興ビジョンを策定し、県境地域全体の振興を強力に推進するとしているが、市長の考えは。

答 圏域自治体をはじめ、福岡県・熊本県と十分に意見交

換を行い、本市の発展を図る。

上・下水道の老朽管対策

問 市内約670キロの水道管の老朽化に対する現状と対策は。

答 法定耐用年数40年を経過した水道管を対象とし、生命に関わる病院や災害時の拠点となる避難所への管路を最優先に更新する。

問 市内にある約471キロの下水道管の老朽化に対する現状と対策は。

答 増加傾向にある老朽管は、新設工事とともに、改築更新工事も重点的に取り組む。国の補助金等を最大限活用し対策を着実に進める。

市立小・中学校

問 2学期制導入の経緯は。

答 令和5年度からの議論で、児童生徒の学校生活にゆとりが生まれ、落ち着いて学習活動に取り組むことができる等の意見がまとめられたことを踏まえ、導入するもの。

問 給食費の無償化に対する市長の考えは。

答 国では小学校が令和8年度に、中学校への拡大も速やかに実現する方針が示された。様々な機会を通じ、給食費無償化の早期実現を求めていく。

連合南筑後地域協議会からの政策・制度要求

問 カスタマーハラスメント撲滅に向けた対策は。

答 国や県等と連携し、市内企業や市民への周知啓発に努める。

地域公共交通

問 地域ニーズに応じた生活交通の具体的な取組は。

答 今後新たな地域において生活交通を確保する場合も、地域の声を聞き、地域のニーズに応じた持続可能な公共交通体系の構築に取り組む。

問 J R 銀水駅トイレの改修が完了した。市長の感想は。

答 銀水駅のトイレは使いづらいたいの声を受け、銀水SA I K O ~ 実行委員会を設立され、多額の募金等を集めて市に寄附していただいた。今回のケースは、地域の課題を校区内外の様々な団体と連携された活動で、地域の課題解決や地域活性化のモデルになるのではないかと感じている。

再発言 市長及び当局には、J R 九州が無人駅を利用して、地域のにぎわいをつくる、無人駅活性化プロジェクト（E K I N I K O ・エキニコ）等を活用して、駅を中心としたまちづくりに御協力をいただきたい。



J R 銀水駅と新しくなったトイレ